

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

× **会社は自分の生活を保証してくれると思うのは誤解だ！**

自分の会社が赤字だったり、業績が落ち込んでいても、全く関心がない人がいる。ボーナス時期がくると、業績が多少悪くても、当然いつものボーナスがもらえると思っている。支給金額が多少でも少ないと、「なぜボーナスが少ないのだろう？うちの会社の役員がたくさんもらって我々には少なくしているのだろうか？」と会社の批判を言う。このように**会社の業績に関心がないのに、自分の生活の保障だけは会社がしてくれると思いついて**いることを「**サラリーマン根性**」という。

※ 自分に素直になろう

さて、あなたはサラリーマンと言われたらどうだろうか？言われたくないだろうか？「サラリーマン」という言葉には、どこか投げやりな感じがある。

- ・ どうせサラリーマンだから。
 - ・ サラリーマンだからたかが知れている
 - ・ サラリーマンだから責任がなくて気楽だ
- などという消極的な意味合いを指すことが多い

- ・ 自分をもっと力を発揮できる仕事をしたい
- ・ 従属的に会社に頼った生き方をしたくない

と、あなたは心底では、強いプライドを持っているのではないだろうか？あなたの素直な気持ちはどうであろうか？

※ ビジネスマンで自己実現を図ろう

サラリーマンでも、仕事の仕方次第で自分の思う積極的な仕事環境ができることに気づいてほしい。

それには**会社によりかかからない自立した会社勤務**をすることだ。その姿勢をもった人を**ビジネスマン**と呼ぶ。

ビジネスマンは業績に自己責任を持つ。自分の仕事が会社のどのような影響を与えているか、自分の仕事は会社に貢献できているか、と仕事のプロセスと成果に強く関心を抱く。それをベースに自分流をつくり上げる。

それは仕事の誇り、自分の存在の確認、会社の幹部となり会社を動かす充実感など、あなたの求める全てにつながる。

1) 会社の業績には関心がないのに、自分の生活の保障だけは会社がしてくれると思いついてる人の事を何と言いますか？

()

2) あなたはサラリーマン・ビジネスマンのどちらになりたいですか？

サラリーマン

ビジネスマン